

文芸ひろば

詠歌の紹介

千代田俳句同好会

父母のとし生きながら来て夕端居
次々と咲きたしたるや百日紅
こほろぎのかなる間や終電車
冬瓜を抱へようめく草の道
間近なる山新涼の露天風呂

紫陽花俳句会

まどうみの覚めて良夜の一句かな
秋の蝶風の強さに耐えて飛ぶ
喝采の如き雨音大賀蓮
戸をしめて寝るにはおしき良夜かな

出島短歌会

北の空一際輝るあの星に今着いたと七姉の合図か
駆け足で逝つてしまつた貴方です位牌しもしみ眺めるばかり
さりげなく古代の風が響きくる杉のまゆ玉神の安曇野
新道路伸びゆく中でみつめれば手の届きそうくば山並

投稿作品

長月におくれ花咲く紫陽花に雨は静かに季節を刻む
幻しのひとはいすこか女郎花想ひ新たに今年も咲けり
父の遺した漱石全集の初版本赤い背表紙妙に貴やか
ユーラシア大陸跨ぐ鉄路ゆく右も左もシベリアだ
歳八十四いまだに父に叱られる
秋海棠秋明菊と並列に姉妹のように寄り添ひ誇る
優勝のあとにさわやかなおみ節

加藤貞江
熊沢鉄雄
神原清志
桜井愛子
桜井筑娃

飯田功
車田きみ
田能幸雄
萩原とし子

名倉親子
飯島ヒロエ
岡田恭子
須崎三代子

沽野はつ子
石塚清
菅谷味子
中島良平
やまぐちいさむ
篠塚紫峰
いいたいさを

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。11月1日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

生活の中に
スポーツを

いきいき茨城ゆめ国体2019開催記念
かすみがうら
スポーツチャンネル



かすみがうら市サッカー協会

市サッカー協会は、一種(社会人)、三種(U・15)、四種(U・12)の3カテゴリーで活動しています。

一種は、市の代表チームかすみがうらユナイテッドが、平成28年の第10回茨城新聞社杯ふるさとドリームマッチにおいて、ひたひたなか市代表ソルチを破り、優勝するという快挙を達成しました。

三種は霞ヶ浦中学校、下稻吉中学校の両サッカー部で活動し、本年の中学総体ではそれぞれ県南大会に出場しました。残念ながら両校ともに県南大会で敗れましたが、三回戦で下稻吉中学校が敗れた相手は県大会を制し、関東大会でも茨城県勢として15年ぶりの優勝を果たした強豪でした。

四種には、霞ヶ浦サッカースポーツ少年団と千代田サッカースポーツ少年団が所属し、それぞれ1年生から6年生で活動しています。両チームとも、6年生は本年度の県南リーグ戦でプレミアリーグに所属し、アントラーズつくばジュニアなど強豪チームと同じカテゴリーで試合を行いました。少年団では体験での参加を常時受け付けています。興味のある方はスポーツ振興課にお問い合わせください。

かすみがうら市硬式テニス協会

市硬式テニス協会は、今から14年前に設立された組織で、市内で活動している4つのクラブチームで構成されています。なかでも結成から44年の歴史のあるグリーンエスクラブが協会の運営を携わっています。本協会のメンバーは、市内在住・在勤者を中心に構成され、会員数は現在50人ほどです。社会人になってから始めた人や学生時代からやっている人、軟式テニスからの転向組などさまざまです。各クラブチームの練習は、第常陸野公園を中心に活動しています。また、協会の公式行事として、毎年11月に開催している「市硬式テニスダブルス大会(男子の部・女子の部)」を今年も開催します。大会要領および申込書を、スポーツ振興課(あじさい館内)、第常陸野公園管理室、わかべり運動公園受付窓口にて設置しています。

少しでもテニスに興味のある方は、お気軽に「連絡ください。会長 外尾 0800(5)5554(5)5558 0511(5)5559(5)5557」

問 スポーツ振興課

0511(5)5559(5)5557



第17回世界湖沼会議-いばらき霞ヶ浦2018- 帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム 「帆引き船と霞ヶ浦の魚食文化」



9月16日、農村環境改善センターを会場に第17回世界湖沼会議サテライトかすみがうら「帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム『帆引き船と霞ヶ浦の魚食文化』」を開催しました。

サテライトかすみがうらは、「霞ヶ浦の豊かな生態系と共存するかすみがうら」をテーマに「食」と「文化」にスポットを当て、霞ヶ浦の資源と人との共存に向け議論してきました。

今回のシンポジウムでは、市内の小中学生による学生発表、筑波学院大学教授古家晴美氏による基調講演、県内外の水産業従事者や行政、フードコーディネーターによる事例発表やパネルディスカッションが行われ、霞ヶ浦の水産資源の重要性とその活用に向け、話し合われました。

また、霞ヶ浦で採れるワカサギなどを使った料理の試食会が行われ、来場者からは「ワカサギが柔らかくておいしい」などといった声も聞こえ、霞ヶ浦の恵みを実感した方が多かったと思います。

今回のシンポジウムを通して、霞ヶ浦と人との共生関係を築いていくには何が必要なのか、霞ヶ浦の豊かな資源をどのように未来に残していくべきか、来場者の方々が改めて考える機会となったことでしょう。

生活環境課(霞ヶ浦庁舎)



①学生発表(霞ヶ浦北小学校6年生)②学生発表(霞ヶ浦南小学校4年生)③開会宣言の様子④基調講演の様子⑤学生発表(下稻吉中学校郷土科学部)⑥霞ヶ浦で採れるわかさぎなどを使った料理の試食会⑦七色帆引き船⑧事例発表の様子⑨会場の様子⑩パネルディスカッションの様子

